

1. 件名「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 JRR-3 原子炉施設に係る新規制基準への適合性確認に関する事業者ヒアリング（203）」
2. 日時：令和2年7月9日（木）16時00分～18時50分
3. 場所：
 - (1) 原子力規制庁10階南会議室
 - (2) 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所
※本ヒアリングは、テレビ会議にて実施
4. 出席者
 - (1) 原子力規制庁
原子力規制部 新基準適合性審査チーム
上野管理官補佐、加藤安全審査官、島村安全審査官、荒川安全審査専門職
 - (2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
研究炉加速器技術部 JRR-3 管理課 担当者 他8名
5. 要旨
 - (1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、令和2年5月8日付けで一部補正があった原子力科学研究所の原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）の変更に係る設計及び工事の方法の認可（以下「設工認」という。）申請（その11）に関し、上位クラスへの波及的影響について、資料R3-203-2に基づき説明があった。
 - (2) 上記（1）の説明に対し、原子力規制庁から主に以下の事項について確認を行い、原子力機構から了解した旨回答があった。
 - 上位クラスへの波及的影響に関し、プールゲートに対し想定している炉心への影響を及ぼす損傷形態、プールゲートのカナルへの取付部構造等を具体的に説明する必要があること。
 - (3) 原子力機構から、令和2年5月28日付けで申請があった原子力科学研究所の原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）の設工認申請（その13）に関し、制御棒の挿入性等の申請概要について、資料R3-203-1、資料R3-203-3及び資料R3-203-4に基づき説明があった。
 - (4) 上記（3）の説明に対し、原子力規制庁から主に以下の事項について確認を行い、原子力機構から了解した旨回答があった。
 - 制御棒の挿入性に関し、スクラム設定値を検知してから制御棒が挿入開始するまでの時間を、スクラム試験の結果を用いて説明する必要があること。
6. 配付資料
 - (1) 原子力機構からの配付資料
 - ・ 資料R3-203-1 JRR-3 制御棒の地震計スクラム検知から挿入までの時間について

- ・ 資料R3-203-2 JRR-3の設計及び工事の方法の認可申請書（その11）に係る追加説明事項
- ・ 資料R3-203-3 JRR-3設備機器の耐震性に係る再評価の要否について
- ・ 資料R3-203-4 JRR-3の火災防護に対する安全保護系の系統分離について